

## QA/QC 委 員 会

日本医学物理学会 会長 殿

平成 23 (2011) 年度の活動につき、下記の通り報告します。

報告者氏名 西尾 禎治

委員 委員長◎ 副委員長○ 顧問コ	西尾 禎治◎、青山 裕一、穴井 重男、石川 正純、鬼塚 昌彦、川田 秀道、 黒岡 将彦、高倉 享、高橋 豊、遠山 尚紀、成田 雄一郎、芳賀 昭弘、保科 正夫、 三津谷 正俊、矢野 慎輔、田村 昌也、熊崎 祐
今年度課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ TG02「X線線量計算の不均質補正法に関する医学物理ガイドライン」の監修</li> <li>・ JSMP 課題別研究：岡本班による AAPM-TG142 和訳書の取り扱いについて</li> <li>・ 自主的活動成果物である AAPM-TG106 和訳書の扱いについて</li> <li>・ 粒子線治療 QA/QC ガイドラインにおける第三者的評価者</li> <li>・ 線量測定フィルム用解析ソフトの精度評価 WG の立ち上げ案</li> </ul>
委員会開催 履歴	9月30日 於：九州大学 平成23年度第一回医学物理学会 QA/QC 委員会
総括	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ TG02「X線線量計算の不均質補正法に関する医学物理ガイドライン」の監修                      TG02「X線線量計算の不均質補正法に関する医学物理ガイドライン」の監修と序文の作成を実施した。成果物は JSMP 31(Supple.5)で出版された。</li> <li>・ JSMP 課題別研究：岡本班による AAPM-TG142 和訳書の取り扱いについて                      JSMP 課題別研究：岡本班による AAPM-TG142「Quality assurance of medical accelerators」の和訳成果物の PDF 版の取り扱いに関して、JSMP ホームページに（AAPM-TG53 和訳版のように）アップしてほしいとの要望があった。マイページの活用など、実施方法についてはまだ検討中である。</li> <li>・ 自主的活動成果物である AAPM-TG106 和訳書の扱いについて                      学会員からの樹種的活動の成果物は、原則として学会寄贈として取扱い、和訳許可などは寄贈者で実施する。成果物を WEB 掲載し、学会員からの意見を貰った後、1年後を目処に寄贈者は修正作業を行い、場合によっては学会誌として出版する。WEB からの電子媒体資料のダウンロードは、その実施者の個人情報を求める。上記と同様、マイページの活用など、実施方法についてはまだ検討中である。</li> <li>・ 粒子線治療 QA/QC ガイドラインにおける第三者的評価者                      厚労科研鎌田班によって粒子線治療 QA/QC ガイドラインの作成が行われている報告を受け、年明けの1—3月に QA 委員会へのレビュー依頼が行われる予定であったが、ガイドライン作成が遅れている状況にある。来年度、対応して行く予定でいる。</li> <li>・ 線量測定フィルム用解析ソフトの精度評価 WG の立ち上げ案                      IMRT 等の線量分布解析等で多用されている様々なメーカーの線量測定フィルム用解析ソフトの精度評価を検証する WG を立ち上げ、JSMP TG とて実施するのはどうかと言った話し合いを委員会で討論した。来年度以降、実施に向けた活動を実施して行く予定でいる。</li> </ul>